

ユニバーサルデザインな学校図書館「ほんの森」プロジェクト

-地域の誰もが**読書**できる社会を目指して-

京都ノートルダム女子大学 (太田容次研究室・竹原広美研究室)
京都府立南山城支援学校
活動地域：山城地域

本事業の概要

“誰もが**読書**できる社会”を目指して
障害の有無に関わらず、すべての子どもたちが読書を楽しむことのできるユニバーサルデザイン（以下UDと記す）な学校図書館をつくる。

また、この取組で得た知識や経験を地域の公共図書館にも広げていくことで、共生社会の実現に寄与する。

UDな図書館を実際に見学し、取り組みを体験的に学ぶことで、UDな図書館の提案をする。

見学先



ぎふメディアコスモス
岐阜市立中央図書館



高知県オーテピア高知図書館
オーテピア高知声と点字の図書館

見学の報告

ぎふメディアコスモス 岐阜市立中央図書館

段差が少ない・バリアフリー
通路が広い



触地図の案内板



様々なスペース
➤スペースを散らして分ける



子ども専用の検索機
➤普段は大人が使いがちになる為、子どものみが使用できるように設置。



ごろん



読書に親しむための取り組み

対面音訳室（3室）

➤ボランティアが視覚障害など一人でも読むことが困難な利用者に向け、本を読み上げる活動をしている
本以外にも、仕事の資料や雑誌などの読み上げもやっている
(Zoomや電話でも対応)



オーテピア高知図書館 声と点字の図書館の図書館

こどもの読書コーナー

カーテンを閉めるとクールダウンできる
➤自閉症の子どものリラクセスに対応



床の仕様（絨毯でない）
➤子どもが絨毯で踏かない、吐いてしまっても消毒しやすい



施設

グループ室

➤グループで話し合いや活動ができる部屋



静寂読書室
➤じっくり集中して本が読める、静かに利用する部屋



読書をサポートする設備

拡大読書器



音声読書器



大活字本



デジタル図書



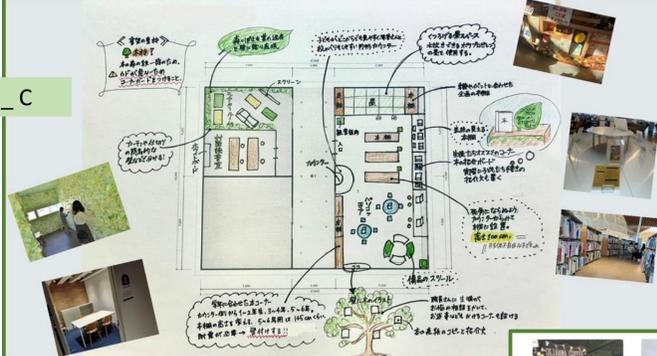
UD図書館のプラン提案

京都府立南山城支援学校 図書館「ほんの森」リニューアル事業のための、図書館計画プランを提案。

Plan_A



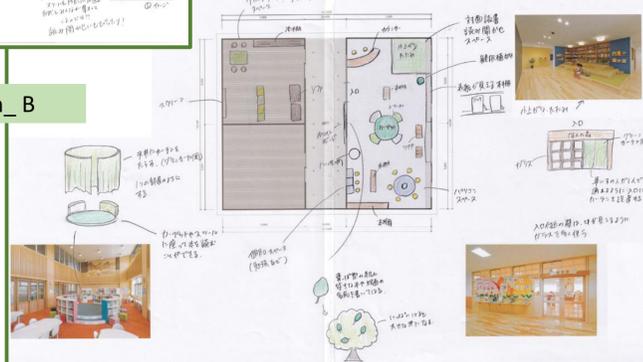
Plan_C



Plan_E



Plan_B



Plan_D



事業を通じて感じたこと・気づき

日本有数のUD図書館を訪問、見学したことで、多様な利用者に向き合う配慮の現場を深く知ることができた。また配慮事項を空間デザインに盛り込む手法を体験的に学んだ。見学の知見は南山城支援学校「ほんの森」のプラン提案として具体的な形にすることができ、有意義な学びができた。